

表題と系図 (一・一〜一七)	誕生からナザレ定住まで (一・一八〜二・二八) インマヌエル預言 (一・二三)、占星術の学者 エジプトへ避難、ヘロデ王の悪政、エジプトから帰国 (ナザレ定住)	宣教準備と開始 (三・一〜四・二五) 洗礼者ヨハネ、イエスの受洗、荒野の誘惑 ガリラヤ伝道、弟子召命	山上の説教 (五・一〜七・二九) (メシアの言葉) 八つの祝福、六つの反対命題 三つの信仰的実践 (施し、祈り、断食) 黄金律 (七・一二) 説教①	病人癒し (八・一〜九・三八) (メシアの行爲) 重い皮膚病、百人隊長の僕、中風の人など一〇の奇跡 言行の一致	弟子の派遣と説教 (一〇・一〜一一・一一) 説教②	イエスの宣教と論争 (一一・二〜一二・五〇) 安息日論争、ベルゼブル論争	御言葉を聞く者と天国のたとえ話 (一二・一〜一三・二二) 「種を蒔く人」のたとえ、たとえ話 (毒麦、からし種、パ ン種、畑の宝、商人の真珠、魚の選別) 説教③	遍歴のイエス (一三・五三〜一六・一一) ヨハネの殺害、五千人の給食、清浄規定の論争、カナンの女、四千人の給食、ファリサイ派とヘロデ派	受難の道 (一六・一三〜一七・二七) ペトロの信仰告白、受難予告一回目、山上の変貌 受難予告二回目、神殿税	エクレシア (教会) の運営 (一八・一〜三五) 「偉い者」、「迷い出た羊」、兄弟の忠告 臨在の主 (一八・二〇)、「仲間を救さない家来」 説教④	イエスに従う道 (一九・一〜二〇・三四) 離縁について、金持ちの青年、「ぶどう園の労働者」 受難予告三回目	エルサレムでの活動 (二一・一〜二五・四六) 入城、宮清め、論争と問答、「二人の息子」、「ぶどう園と農夫」、「婚宴」、最も重要な掟、ユダヤ教指導者への非難、神殿崩壊予告、終末の徴、「十人のおとめ」 説教⑤ 全民族参集と審判	受難物語 (二六・一〜二七・六六) ベタニアでの香油、ユダの企て、最後の晩餐、ペトロの離反予告、ゲツセマネの祈り、逮捕、最高法院での裁判 ペトロの離反、ユダの自殺、ピラトの尋問、死刑判決 十字架死、埋葬	復活顕現と宣教命令 (二八・一〜二〇) ガリラヤの山、共にいる主 (二八・二〇)
----------------	---	--	---	---	---------------------------	---	---	--	---	---	---	---	--	---

モーセ五書とイエスの5つの教え？

「イエスがこれらの言葉を語り終えると」という句に注目すると (7:28; 11:1; 13:53; 19:1; 26:1)、5つのイエスの説教 (教え) がまとめられていることが分かる。ただし、まとめられた教えが5つしかないという意味ではない。他には「宣教途上での教え」 (11:2-30) や「ユダヤ教指導者への非難」 (23:1-39) などがある。なお、5つの説教のなかで最初の4つはガリラヤで、最後の一つがエルサレムでなされている。